

2009 駅タイ ミニバイク耐久レース 規則書

大会規則

大会名 Pigsoup 駅タイ ミニバイク耐久レース
主催者及び事務局 レイステック 広島県広島市南区向洋新町3-10-31

開催内容

レース内容	開催日	開催場所	申し込み期間	
第1戦	2時間耐久	3月1日(日)	スポーツランドTAMADA	2月22日(日)～3月8日(日)
第2戦	2時間耐久	4月19日(日)	スポーツランドTAMADA	4月4日(土)～4月20日(月)
第3戦	2時間耐久	5月31日(日)	スポーツランドTAMADA	6月5日(金)～6月21日(日)
第4戦	2時間耐久	8月31日(日)	TSタカタサーキット	8月13日(木)～8月30日(日)
最終戦	2時間耐久	10月4日(日)	スポーツランドTAMADA	10月15日(木)～11月1日(日)

ライディングスポーツカップシリーズ併催

開催クラス

クラス	車両	ゼッケン色	ハンディ(ピットストップ時間)
ミニMoto - GP	4サイクル125cc以下、2サイクル70cc以下 (但し、ノーマルエンジンの場合は80ccまで)	赤地に白文字	6分×3回
ミニMoto - SP	4サイクル100ccまで、2サイクル50ccまで	白地に黒文字	4分×3回
ミニMoto - ST	4サイクル100ccまで(KSR110、OK)	黒地に白文字	1分×3回
オープンミニ	4スト125cc以下、2スト80cc以下	黄地に黒文字	2分×3回
オープンミニ 50、	4スト50cc以下、	黒地に黄文字	0分×3回
スクータST	4スト125cc以下、2スト80cc以下	黄地に黒文字	0分×3回
スクーターOPEN	4st180cc以下、2st125cc以下	赤地に白文字	1分×3回

ハンディストップタイムはスポーツランドタマダの基準です。

参加資格

出場ライダーは基本的にMFJライセンス、またはMFJエンジョイ会員所持者とする。

または参加車両に該当する運転免許証の所持者とする(別途3000円必要)。

未成年者のエントリーは参加申込書に親権者の署名、捺印(実印)が必要、印鑑証明書を添えてエントリーのこと。(印鑑証明書は確認後、返却される。)

18才以下の選手は親権者もしくは親権者より委任された保護者がピットクルーとして登録され、競技会当日に同伴しなければならない。(選手受付はライダー本人が親権者同伴で行うものとする。)

参加申込み

参加申し込み受付期間

開催日の3週間前より1週間前とする。締切日が日曜日の場合は、翌日の入金日まで有効とする。

申込締切後の3日間をレイトエントリー期間として、定員に満たない場合、レイトエントリー料金にて、申込受付をする。

申し込み開始日が、個人の都合によりエントリーしにくい場合は、開始日より前でも、参加申込みを受け付けるが、申込み開始日の扱いとする。また、その場合のグリッドは、申し込み開始日の全員の抽選とする。

参加費用

1チーム12000円、別途選手1名に付き、MFJスポーツ障害基金掛金500円が必要。

締切日が日曜日の場合は、翌日の入金日まで有効とする。申込締切後の3日間をレイト期間として受け付ける。

申し込み方法

インターネットでの申込 ホームページにて必要事項を入力し、申込金を振り込み入金する。

振込入金の場合 申し込み用紙に必要事項を記入、捺印の上事務局宛に送付する。

現金書留 申し込み用紙に必要事項を記入、捺印の上現金書留にて事務局宛に送付する。

消印の日付が同日である場合は、抽選によって到着順を決定する。

また、 の場合は、振込入金を確認できた日を申込日とする。

希望ゼッケンについて

参加申込時に希望ゼッケンを受け付ける。但し、正規の申込期間のみ、早い順とする。希望ゼッケンは、2桁の数字までとする。グリッドにはゼッケン数は関係しない。

ライダー登録・マシン登録・ピットクルー登録

- ・耐久レースのライダーは1チーム1名以上、最大3名登録できる。(選手数により、参加料、MFJスポーツ障害基金が異なる)
- ・マシンの登録は選手の参加人数分まで、登録できる。但し、登録車両は、必ずすべて使用しなければならない。
- ・ピットクルーは最低1名の登録を推奨する。ピットクルーの登録がないチームは、もし選手が競技中に怪我をした場合は失格とし、他の選手はレースへの出走はしてはならない。
- ・選手の変更は参加条件を満たしていれば変更料1,000円を払って変更できる。選手の追加は、変更手数料と参加費用の差額を支払えば出来る。(正規参加申し込み締切日までは変更料は不要。)マシンの変更についても同じ。
- ・登録の変更は参加申し込み締切後、決勝日の参加受付までしかできない。

参加受理

参加者は出場申込みの時、大会特別規則に明示する参加料金を支払わなければならない。またいったん受理された参加料金は競技会の延期及び中止等に合致する以外は払い戻しされない。参加料金の入金を持って、参加受理とする。

参加受理の確認はEメールにて通知する。

また、ホームページにて受付リストに掲載された場合は、受理を完了しているものとする。

タイムスケジュール・参加要項はホームページにて告知する。

競技内容

選手受付

参加者は定められた時間と場所において、選手受付をしなければならない。
選手受付では、MFJライセンス、印鑑、運転免許証、健康保険証を持参すること。
注)選手受付を済ませていないと車両検査は受けられない。

車両検査

参加者は決められた時間内に車検場において車両及びライダーの装備の検査を受けなければならない。装備について、下記の条件を満たしていない選手は、出走できない。参加車両の変更は、条件を満たしていれば変更料 1,000 円を払って変更できる。登録の変更は参加申し込み締切後、参加受付までしかできない。

ライダー装備

基本的に、MFJロードレース国内競技規則に合致した装備を着用すること。但し、革ツナギもしくは革製品のジャンパー、ズボン、グローブ、ブーツ(最低限くるぶしが隠れるタイプ)でも、一時的に許可する。また、いずれも破れやほころびがあってはならない。ヘルメットはMFJ公認のロードレース用フルフェイス型を着用すること。

車検にて装備の検査を受け、不合格の場合は、出走は出来ない。

ライダーズブリーフィング

決勝に出走するライダーは、出席が義務づけられる。
欠席した場合、決勝の出走が認められない。

公式予選、決勝グリッド

公式予選は行われない。決勝のグリッドは先着順とする。最大決勝出場台数は40台

決勝レーススタート方式

スタートはローリング方式で行われる。スタートライダーは最終的に登録された第1ライダーとする。

決勝スタート

コースインゲートに、スタート順に整列、マーシャルに従ってコースインしコースを1周する。追い越し禁止。
コースを1周後、スタート&ゴールラインを通過した時点で、グリーンフラッグの合図にて、決勝レースのスタートとする。
この時、グリーンフラッグが振られない場合は、もう1周コースを周回し、整列を整える。

ライダー交替・義務周回数

ライダー交替は指定場所にピットインしエンジンを完全に停止した状態で行なう。
マシン及び登録されたライダーはレース時間内に合計で10周以上走行しなければならない。

ショートカット

コースの短絡路(ショートカット)した場合は、1周減算のペナルティーが科せられる。パドック内は押し歩きのみ認められる。

ピット作業

ピットエリアにおいてライダー交替、車両に対する作業を行う場合、エンジンを停止しなければならない。
パドックでの車両に対する作業は、指定ピットを通過後、許可される。再コースインは、指定コースイン場所より行うこと。

燃料補給

給油はエンジンが停止され、車両がスタンドにより確実に、安全に支持された状態で行うものとする。給油中は他の作業は一切行ってはならない。給油機具は消防法適合の給油機具、または金属製の給油機に限る。プラスチックのポンプやジョッキでの給油は禁止。

レースの終了

規定の時間を経過した時点でのチェッカーフラッグ提示によりトップ車両がゴールした後、1分経過時点とする。

順位の判定

順位はチェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。同周回数の場合はゴールラインの通過順とする。

再車検

決勝終了後、入賞者の車両を保管し再車検を行う。再車検の台数は、各大会ごとに通知される。

賞典

以下の賞が設けられる。
1.正賞1~6位(参加台数により異なる)2.パラエティ賞(各大会につき定められる。)詳細は公式通知によって示される。

抗議

基本的に抗議は受け付けない。但しどうしても抗議をしたい場合はMFJ国内競技規則に準ずる。
抗議により車両分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者が支払う。その際の分解検査費用は車検長が算出する。

参加者の遵守事項

すべての参加者は競技中の信号合図を遵守しなければならない。
参加者は競技期間中、競技役員の指示に従わなければならない。
参加代表者は自身の行動はもちろん自チーム員の行動や言動について責任をもつこと。
時間厳守で行動すること。
上記事項を遵守し、安全とマナーの向上を励行しなければならない。

主催者の権限

主催者は下記の権限を有する。
参加申込の受付について、理由を明らかにすることなく受理の選択拒否することができる。
大会スポンサーの広告を参加車両に貼り付けさせることができる。
すべての参加者の肖像権、参加車両の写真、映像などの報道出版等に関する権利を有し、その権限を第三者が使用することを許可できる。

レースの延期・中止

MFJ国内競技規則に準ずる。

特別規則 付則

ハンディキャップについて

マシン区分と参加人数により、ハンディキャップを設けます。ハンディキャップは、入賞状況により、変更する場合があります。

ハンディキャップの基準

1、マシン区分

参加車両区分一覧表を参照のこと。

2、参加人数区分

参加選手数により、ハンディが異なります。

3、その他

参加スタイル、特殊車両などの不平等な条件が著しくある場合、または、大会へのバラエティ度アップに貢献した場合などに、主催者が特別ハンディを設ける場合があります。その場合は、当日の公式通知により告知される。

シリーズポイントについて

各大会に付き、上位10位までの選手に、シリーズポイントが与えられる。(参加台数により異なる)

年間獲得ポイントにより、上位10名まで年間シリーズ賞の表彰をする。

得点、賞典対象基準台数

参加台数	20台以上	16台以上	12台以上	8台以上	7台以下	4台以下	シリーズポイントについて
順位	得点	得点	得点	得点	得点	不成立	ポイントは、選手個人に与えられる。 決定方法：年間を通じて、得点の多い順より、シリーズ賞を決定する。 A. 同ポイントの場合は、上位入賞回数の多いほうが上位とする。 B. Aでも決定できない場合は最終戦の順位で決定する。 C. Bでも決定できない場合はポイント取得の多い順で決定する。
1位	15	10	8	5	3		
2位	12	8	6	3	2		
3位	10	6	4	2	1		
4位	8	5	3	1			
5位	6	4	2				
6位	5	3	1				
7位	4	2					
8位	3	1					
9位	2						
10位	1						

賞典対象は、得点獲得者に与えられる。(バラエティ賞、特別賞は別途)

プレミアムハンディ

上位入賞者の固定化防止と、すべての選手に入賞チャンスを与えるため、上位3位までの選手に、次回参戦以降のハンディキャップを、“プレミアムハンディ”と称して、次のように設定します。

対象者 上位3位まで入賞チームの選手

ハンディ内容 1位の選手 次回以降 ピットストップ 30秒 1回

2位の選手 次回以降 ピットストップ 20秒 1回

3位の選手 次回以降 ピットストップ 10秒 1回

次戦以降、エントリーチームに、プレミアムハンディの選手がいるチームは、選手1名に付き、上記ハンディを課する。

該当選手が1名でのエントリーの場合は、回数が2倍となる。

プレミアムハンディは通常のピットイン義務回数にカウントしない。

再度、入賞した場合は、秒数がその入賞ハンディに加算される。

例：第1戦 2位の選手 第2戦 20秒1回で3位に入賞した場合第3戦は20+10で30秒1回のハンディとなる。

なお、次戦以降3位以内に3大会入賞しなかった場合は、プレミアムハンディは、解除される。

第2条 本規則の施行

本大会特別規則『2009年Pigsoup 駅タイミニバイク耐久レース』に適應されるもので3月1日より施行される。

なお、8月30日のTS タカタ大会については、コースが異なるので、別途特別ハンディが告知される。告知は、エントリー開始部までに、ホームページに発表される。